

2017年度 自己点検・評価【人間福祉研究科】

C票

<目標、行動計画>進捗確認シート

提出日：2018年2月22日

2021年度に向けた教育研究目標

責任者	人間福祉研究科委員長	作成部局	人間福祉研究科
-----	------------	------	---------

【A票：教育研究目標1】

(タイトル)

「人間福祉」研究に関わる諸分野で修得した理論・思想・歴史等の知識や価値、並びに学問的手法及び実践的手法を用いて行った研究内容・成果を広く社会に発信し、その専門性を通じて社会に貢献し得る人材を育成する。

(狙い内容)

「人間福祉」という学際的領域において、学修した専門的知識と研究内容・成果を社会に還元することで人類の福祉の向上に貢献し得る人材を輩出するとともに、将来博士課程後期課程に進学し、「人間福祉」の学問領域の深化とそれに関わる教育・研究者として社会で活躍する人材を養成する。

日本社会・国際社会において、「人間福祉」という学問領域を浸透・発展させ、「福祉」の向上に寄与する。

1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)

自らの研究テーマを修士論文として完成させ、学会・社会でそれに関わる成果を公表できる専門的知識と能力を身に付けた人材を育てる。また、それらの知識・能力を昇華させ、博士課程後期課程への進学も見据えた人材を育成する。

2. 達成度評価

評価指標	学会・研究会等での発表、もしくは学内外の研究雑誌等への論文等の投稿のいずれかを当該年度に1回または1回以上した学生の割合 それらを1回以上した者の人数/当該年度在籍者数×100%	評価尺度	A : 60% B : 50% C : 研究科として現状把握 D : 各教員が個々に把握している
------	--	------	---

3. 年度毎の目標値

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
2016年度 自己点検・評価時点		D 調査なし。	C 調査票を作成し、現状把握した結果、41.4%	C	B	B	B	A
2017年度 進捗状況 & 今後の 目標値	評価 尺度： A~D	D	C	見込み	C			
	見込 実績・ 目標 (値又は 状況)	調査なし。	調査票を作成し、現状把握した結果、41.4%	見込み				

【2017年度の進捗状況について】

2月にポートフォリオを用い、アンケート調査を実施し、実態を把握する予定である、その際、評価尺度についても検証を行う予定である。

2017年度の取組み状況の確認

2017年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか？

→ はい いいえ

<評価専門委員・第三者評価結果> 2017年12月22日公示

- ・まだ着手されはじめたばかりかと思えます。順調に進展なさを期待します。(A)
- ・ポートレートを用いたアンケート調査によって現状の把握とともに、今後の課題が抽出されることも期待しています。(C)
- ・概ね予定通りに進捗していると思われます。(D)
- ・人間福祉に係る人材育成の取組の進展が期待されます。(E)
- ・行動計画②については予定以上に進捗しており評価できるが、①および③については遅れているため、早急な対応が必要と考えられる。(G)
- ・検討段階から実施段階への進捗が望まれます。(H)

【A票:教育研究目標2】

(タイトル)

「人間福祉」という従来の学問区分を超えた新しい学問領域を深化させ、この領域で日本・世界を牽引する教育・研究者を輩出する。

(狙い内容)

「人間福祉」は対象となる事象を広く人間と環境とすることから、学際的であり多様な展開が可能な分野ではあるが、学問領域としては発展段階であり、社会での認知度も十分であるとは言いがたい。本研究科で、先行研究を十分に踏まえつつも独創的かつ高度な研究成果をあげる優れた研究者を輩出することにより、「人間福祉」を定義し、学問分野として成長・発展させる。これにより、社会に「人間福祉」の概念の成熟を促すとともに、社会全体の福祉の向上に寄与する。

1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)

人間福祉研究科博士課程前期課程に入学し、人間福祉研究科博士課程後期課程を修了または単位取得満期退学した者への博士学位記授与

2. 達成度評価

評価指標	人間福祉研究科博士課程前期課程に入学し、人間福祉研究科博士課程後期課程を修了または単位取得満期退学した者に対する博士学位授与数	評価尺度	A : 2008年度からの累積で6名 B : 2008年度からの累積で5名 C : 2008年度からの累積で4名 D :
-------------	---	-------------	---

3. 年度毎の目標値

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
2016年度 自己点検・評価時点		D 累積3名	D 累積3名	D	D	D	D	A
2017年度 進捗状況 & 今後の 目標値	評価 尺度: A~D	D	D	見込み	D			
	見込 実績・ 目標 (値又は 状況)	累積3名	累積3名		累積3名			

【2017年度の進捗状況について】

昨年度においては、博士学位授与は3名に対し行っているが、前期課程において、別の大学院で学んでいた。また、今年度においても10月15日現在、博士学位授与の予定はない。今後、大学院のあり方についても大学の方針を確認し、必要があれば再認識(設定)を行うことも検討する。

2017年度の取組み状況の確認

2017年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか? → はい いいえ

<評価専門委員・第三者評価結果> 2017年12月22日公示

- ・「人間福祉」という学問領域の可能性を最大限に広げ展開させようとする目標は大いに評価でき、また期待したいと思いました。ただこの目標達成のための行動計画が、HP閲覧数とマネジメント体制の確立だけでは、いささか寂しい印象もぬぐえません。(A)
- ・大学における今後の大学院の在り方にも影響されますが、人間福祉研究科の特長をホームページ等で社会に向けて発信することで、研究科に入学したい学生が増えていくことを期待しています。(C)
- ・学位授与数は増える見込みはしばらくはないとのことですが、適切な目標を掲げて前進していると評価できます。(D)
- ・後期課程修了により、社会福祉の向上に寄与することが期待されます。(E)
- ・前期同様、行動計画②マネジメント体制の確立が早急に進めるべき課題としてあるように思われます。その他は予定通りだと考えられます。(G)
- ・早期に検討から適用へ進むことが期待されます。(H)
- ・目標に向けて積極的な活動を継続していくことが期待されます。(I)